

女性のためのアジア平和国民基金

# 第5回理事会

平成7年11月

# 「寄付の末に恨んだ」

## 「民間基金」慰安婦軍従元

### 「まず国の補償が筋」

### 「事務局長」配布

「民間基金」は、慰安婦軍従元への謝罪と賠償を目的として設立された。この基金は、日本政府が正式に謝罪と賠償を行うまで、民間レベルで活動する。事務局長は、この基金の運営を担っており、慰安婦軍従元への謝罪と賠償を求め続けている。

事務局長は、日本政府が正式に謝罪と賠償を行うまで、民間レベルで活動する。この基金は、慰安婦軍従元への謝罪と賠償を目的として設立された。事務局長は、この基金の運営を担っており、慰安婦軍従元への謝罪と賠償を求め続けている。

事務局長は、日本政府が正式に謝罪と賠償を行うまで、民間レベルで活動する。この基金は、慰安婦軍従元への謝罪と賠償を目的として設立された。事務局長は、この基金の運営を担っており、慰安婦軍従元への謝罪と賠償を求め続けている。

事務局長は、日本政府が正式に謝罪と賠償を行うまで、民間レベルで活動する。この基金は、慰安婦軍従元への謝罪と賠償を目的として設立された。事務局長は、この基金の運営を担っており、慰安婦軍従元への謝罪と賠償を求め続けている。



慰安婦軍従元への謝罪と賠償を求め続けている。日本政府が正式に謝罪と賠償を行うまで、民間レベルで活動する。この基金は、慰安婦軍従元への謝罪と賠償を目的として設立された。事務局長は、この基金の運営を担っており、慰安婦軍従元への謝罪と賠償を求め続けている。



元「慰安婦」たちの戦後補償を求め、座り込みをする市民団体のメンバーたち=27日午前10時、東京・永田町の衆議院第一議員会館で

10/27 '95

日(9)  
慰安婦基金  
反対座り込み

永田町で市民団体  
戦後補償問題に取り組み  
市民団体などが二十七日  
朝、東京・永田町の衆議院  
第一議員会館前に集まり、  
元慰安婦安婦ら被害者個人  
への国家補償を訴える抗議  
の座り込みを始めた。政府  
提議の「女性のためのアジ  
ア平和国民基金」を批判し、  
戦後補償法の制定を求めて  
いる。約百人が同日午後七  
時まで座り込みを続ける予  
定で、途中、フィリピン人  
の元慰安婦安婦ロサリオ・  
ノブレトさん(68)が日本政  
府の戦後補償を訴える。

座りかけ団体の「戦後補  
償実現キャンペーン」の  
事務局長村松善之助(66)は  
「『国民基金』は戦争の犠  
牲者たちに対する日本政府  
の償いにはなっていない」  
と訴えていた。

今日(十四日)は、右翼新聞は米野の憲法公明を論じて、憲法を改定するべきの論を述べ、左翼新聞は米野の改定案を論じて、米野の改定案を批判する。米野の改定案は、米野の改定案を批判する。米野の改定案は、米野の改定案を批判する。

日本を米野の憲法を維持しようとする。日本を米野の憲法を維持しようとする。日本を米野の憲法を維持しようとする。日本を米野の憲法を維持しようとする。日本を米野の憲法を維持しようとする。

「米田外交と米野外交」

この問題の中心は、米野の改定案と、米田の改定案との比較である。米野の改定案は、米野の改定案を批判する。米田の改定案は、米田の改定案を批判する。

米野の改定案は、米野の改定案を批判する。米野の改定案は、米野の改定案を批判する。米野の改定案は、米野の改定案を批判する。米野の改定案は、米野の改定案を批判する。

米野の改定案は、米野の改定案を批判する。米野の改定案は、米野の改定案を批判する。米野の改定案は、米野の改定案を批判する。米野の改定案は、米野の改定案を批判する。

日本に恩恵 という論理は今も説得的か

基地提供の根を問ひなおす

「国民基金」では解決しない。米野の改定案は、米野の改定案を批判する。米野の改定案は、米野の改定案を批判する。米野の改定案は、米野の改定案を批判する。

「国民基金」では解決しない

米野の改定案は、米野の改定案を批判する。米野の改定案は、米野の改定案を批判する。米野の改定案は、米野の改定案を批判する。米野の改定案は、米野の改定案を批判する。

米野の改定案は、米野の改定案を批判する。米野の改定案は、米野の改定案を批判する。米野の改定案は、米野の改定案を批判する。米野の改定案は、米野の改定案を批判する。

米野の改定案は、米野の改定案を批判する。米野の改定案は、米野の改定案を批判する。米野の改定案は、米野の改定案を批判する。米野の改定案は、米野の改定案を批判する。

# 従軍慰安婦の霊に鎮魂のクツ

韓国のみこ 金京蘭さん 踊りと祈りささげる

10日に自黒で

1/7 '95

戦争中、日本軍の従軍慰安婦として過酷な状況に置かれたようになった朝鮮人の霊を慰めるため、韓国から舞踊家のみこ(シャーマン)でもめる金京蘭さんを招き、ソウル市の儀式である「クツ」が、十日午後八時半から、同市区文谷の福祉センターホールで行われる。

従軍慰安婦問題に取り組んでいる女性教師らが、日本政府が民間資金による見舞金で従軍慰安婦問題に決着を付けようとしていることと反対、再び戦争を繰り返さないようするための慰霊をしようとして、戦後五十年に合わせ企画した。「クツ」は、みこが踊りと歌で祈りを捧げ、死者



「鎮魂のクツ」を行う金京蘭さん

の魂をいやす儀式。韓国の無形文化財に指定され、韓国の民俗舞踊の源でもある。

「クツ」を行うのは、韓

国の重要無形文化財で、舞踊家のみこの金京蘭さん。金さんは中国・北京で開かれた世界女性会議のNGOフォーラムでも従軍慰安婦や戦争犠牲者のために「鎮魂のクツ」を行っている。以前から、日本でも行いたいと希望しており、今回は出演料なしで協力することになった。

しかし、会場費や出演者の滞在費などが必要。このため、主催の「鎮魂クツ」実行委員会は、チケットの購入やカンパによる協力を呼びかけている。参加費二千元(前売りのみ)。賛同金一口千円。

問い合わせは、実行委員会 03・33378・9117。

1/19 4006  
慰安婦補償

# 民間基金めぐり公開討論

## 反対側と推進側 具体策はスレ違い

「従軍慰安婦」にまつる「目的に政府が提唱した「国民基金」(アジア女性基金)をめぐり「女性のためのアジア平和」金の是非を問う公開討論

会が六日夜、東京都文京区で開かれた。基金に反対する市民グループが主催し、推進側を代表して基金の呼びかけ人である和田春樹東大教授が討論に参加。三時

内のが戦没者遺族への特別弔慰金が増額され拠出されたことなどを引き合いに出して、「なぜ、特別弔慰金が出せるのに、慰安婦たど金が出せないのか。内外に理由を明らかにすべきではないか」と訴えた。

必要との認識では双方が一致したものの、具体的な方法論では最後まですれ違った。  
推進派からはただ一人の参加者となった和田氏は、募金額が、十月末現在で、二千六百三十口で約六千百万円になったことを紹介。  
「国民全体の中ではわずかな人数。世論調査だとすれば完全な敗北」と述べた。  
一方、パネリストとして出席した田中宏・一橋大教授は、基金の是非論とは別に、この四月から、日本國